様式第17（第26条関係）

供給計画書

年　　月　　日

殿

 住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名 （名称及び代表者の氏名）

　熱供給事業法第27条の規定により次のとおり供給計画書を報告します。

１．需給の実績と見通し

熱供給事業を営む地域：

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　年度　項目 | 　　　　年度（実績） | 年度（実績見込み） | 　　　　　　年度（初年度） | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 |
| 需要家 | 住宅用 |  |  |  |  |  |  |  |
| 業務用 |  |  |  |  |  |  |  |
| 原・燃料使用量 | ガス |  |  |  |  |  |  |  |
| ＬＰＧ |  |  |  |  |  |  |  |
| 石炭 |  |  |  |  |  |  |  |
| 灯油 |  |  |  |  |  |  |  |
| 重油 |  |  |  |  |  |  |  |
| 再生油 |  |  |  |  |  |  |  |
| 購入排熱 |  |  |  |  |  |  |  |
| 電力 |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |  |
| 販売熱量 | 住宅用 |  |  |  |  |  |  |  |
| 業務用 |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |  |
| 最大熱需要 |  |  |  |  |  |  |  |
| 最大供給能力 |  |  |  |  |  |  |  |

２．設備計画

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 熱供給事業を営む地域 | 熱供給施設 | 設　置　場　所 | 種　　　類 | 能　　　力 | 工事着手予定年月 | 使用開始予定年月 | 設 ・改休 ・廃 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 年度 | 熱供給事業を営む地域 | 輸送導管 | 設置場所 | 内　　　径 | 　温水等の温度、圧力 | 工事着手予定年月 | 使用開始予定年月 | 設 ・改休 ・廃 |
| 区　間 | 経過地 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

備考　１　「実績」の欄には、当該年度の前々年度の実績を、「実績見込み」の欄には、当該年度の前年度の実績見込みを、「初年度」の欄には当該年度の見込みを記載すること。

２　「需要家」の単位は、件数で記載すること。

　　　３　「原・燃料使用量」の単位は、都市ガス（1,000㎥）、ＬＰＧ及び石炭（ｔ）、灯油、重油及び再生油（kl）、購入排熱（ＧＪ）、電力（1,000kWh）、その他及び合計（ＧＪ）で記載すること。1kWh＝3.6ＭＪで換算。

　　　４　「販売熱量」の単位は、ＧＪで記載すること。

　　　５　「最大熱需要」の単位は、ＧＪ／ｈで記載すること。

　　　６　「最大供給能力」の単位は、ＧＪ／ｈで記載すること。

　７　「能力」の欄には、加熱能力又は冷却能力（ヒートポンプにあつては加熱能力及び冷却能力、温水又は冷水の貯水槽にあつては、最大貯水容量）を記載すること。

８　輸送導管の設置の場所については、連続する導管であつて、その内径及び導管内の蒸気等の温度及び圧力が同一である範囲のものを一区間とし、「区間」の欄にその始点及び終点の所在地を記載するとともに、「経過地」の欄には、当該導管の経過する地名を記載すること。

９　「設・改　休・廃」の欄には、新設の場合は「設」を、改修の場合は「改」を、休止の場合は「休」を、廃止の場合は「廃」を記載すること。

10　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。